

# 都市再生整備計画(第4回変更)

じち いたい えき しゅう へん  
自治医大駅周辺地区

とちぎ しもつけし  
栃木県 下野市

令和6年1月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

## 目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	栃木県	市町村名	下野市	地区名	自治医大駅周辺地区	面積	43.5	ha							
計画期間	令和	元	年度	～	令和	5	年度	交付期間	令和	元	年度	～	令和	5	年度

### 目標

大目標：快適でうおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり  
 目標1：人に優しい交通環境づくり  
 目標2：快適に住み続けられる住環境づくり

### 目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。  
 本市では、3つの鉄道駅(石橋駅、自治医大駅、小金井駅)周辺が生活住居拠点に位置づけられ、これらと東西(道路)及び南北(鉄道・道路)を結ぶ広域連携軸からなる都市構造となっており、将来都市構造も同様に位置づけている。  
 都市機能誘導区域内での賑わいづくりとしては、公共施設の整備・再編・複合化により、公有地を有効活用することで、更なる都市機能の誘導と集積を図る。また、既存の空き店舗活用の取組や各都市機能誘導区域においてニーズの高い施設を誘導する。  
 居住誘導区域内での移住・定住者の増加を図るため、デマンド交通などの公共交通や自転車利用環境の向上、駅周辺の歩道改良、バリアフリー化により、生活交通の確保と安全な歩行空間整備による高質な都市空間づくりを行う。バリアフリー化や修景に加え、今後、策定予定の地域公共交通等に関する計画と連携し、快適な移動環境の形成を図る。  
 また、誘導による医療・福祉・子育てサービスの提供としては、本市の特徴でもある自治医科大学附属病院などを医療機能の核として、健康・医療・社会福祉に関する施設の誘導を図るとともに大学立地を地域の貴重な資源として、連携や交流を通じ、学問・ノウハウを地域の持続可能性につなげ、今後の高齢化に備えた施設立地とともに各都市機能誘導区域においてニーズの高い施設の誘導を図る。

### まちづくりの経緯及び現況

平成18年1月10日に石橋町、国分寺町、南河内町の合併により誕生した下野市は、JR宇都宮線や国道4号、新4号国道などの充実した交通網や国指定史跡「下野薬師寺跡」などの豊富な歴史・文化資源を活かし、旧町の中心市街地であるJR各駅(石橋駅、自治医大駅、小金井駅)周辺を拠点地区として地域特性に応じたまちづくりを進めている。  
 各駅周辺では、良好な住居環境の形成・保全を図るため、地区計画や建築物等指導基準などによる規制・誘導等を行い、JR3駅を中心とした、有効な土地利用の推進とコンパクトシティの形成が期待されており、市街地間の連携と人口減少にも対応した都市構造の再構築が求められている。  
 本地区の自治医大駅周辺においては、自治医科大学附属病院及び周辺の医療施設の集積により、医療機能が充実した便利で暮らしやすい住宅地としての環境が整っており、都市核として、また、県内における高度医療の中心として、超高齢社会でも安心、便利に暮らせる定住の場としての強みを活かしたまちづくりを進めている。

### 課題

- 自治医大駅周辺のグリーンタウンにおいては、自治医大周辺土地区画整理事業実施後、長期間が経過しており、老朽化した道路、公園等の維持管理、空き家対策などの安全・安心に暮らせる定住環境の整備が必要となっている。
- 高齢化社会により、自分で運転できなくなる人が多くなる今後のまちづくりを想定すると、駅周辺のバリアフリー整備をはじめ、誰もが便利に移動できる環境整備が必要である。
- 本市の「都市核」として位置した自治医大駅周辺においては、行政機能などの都市機能や住居の集約に向け、市街化区域内や新庁舎周辺の土地利用を検討する必要があり、特に、市庁舎周辺は、コンパクトな都市構造の形成や都市機能の効率的な集積など、今後の市全体のまちづくりにおける重要性を踏まえ、有効な土地利用が図れるような検討が必要である。

### 将来ビジョン(中長期)

【第二次下野市総合計画】(基本構想 2016～2025、前期基本計画 2016～2020)  
 ・自治医大駅周辺は本市のほぼ中央に位置するため、市の都市構造の中心となる拠点として位置付け、市庁舎の整備による行政機能の集積など、都市機能の集積を効率よく推進し、魅力ある「都市核」の形成を図る。  
 【下野市都市計画マスタープラン】<改訂版>(平成29年3月)  
 ・「駅周辺のバリアフリー」 JR3駅周辺におけるバリアフリー化を推進し、公共交通を安全・便利に利用できる環境づくりを図る。  
 ・「都市機能の集約」 自治医大駅周辺において、行政、公共施設、店舗等の生活を支える様々な機能を集約させるとともに、そうした機能によるサービスを受けられる暮らしやすい定住の場づくりを進める。  
 【下野市立地適正化計画】(公表 平成29年3月31日、居住誘導区域設定 平成31年3月、改訂 令和4年3月)  
 ・都市機能誘導区域である自治医大駅周辺は、本市の中心拠点として公共施設や都市機能の集積を図るとともに、小山栃木都市計画区域の広域的な拠点としての都市環境形成を図る。  
 ・自治医科大学附属病院を医療機能の核として、健康・医療・社会福祉に関する施設の誘導を図り、都市機能誘導区域の快適な移動環境づくりを通じて、都市機能の集積に努める。

**都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。**

**都市機能配置の考え方**  
 ・市内にある3つの鉄道駅を、都市機能の集積拠点となる核として相互に連携することを目指し、それらを公共交通でつなぐ“ネットワーク型コンパクトシティ”の形成を図る。  
 ・市内にある3つの鉄道駅は、市街地の中でも居住者が多く、重点的に都市機能の集積を図ることが効果的であり、駅周辺の居住者特性を考慮して、商業や医療などの各都市機能を誘導・集積させることで、快適な生活が可能となるような空間づくりを行う。  
 ・全ての拠点で同一の機能を有する事は困難であるため、3つの拠点を結ぶ鉄道に着目し、これを軸と捉えて各市街地の連携を図り、都市機能を相互に補完する。駅へのアクセスや周辺道路整備・修景なども含めて、鉄道軸を活用する。  
 ・将来的な高齢化を見据えて、生活交通の確保(路線バスやデマンド交通)を図るために地域公共交通対策を同時に行い、コンパクトシティプラスネットワークの実現を目指す。

**都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。**  
 ・自治医科大学附属病院などの医療機能を核として、健康・医療・社会福祉に関する施設の誘導を図り、今後の高齢化に備えた施設立地とともに、各都市機能誘導区域においてニーズの高い施設の誘導により、健康寿命の延伸、医療費の抑制につなげる。  
 ・公共施設の整備・再編・複合化により、公有地を有効活用することで、更なる都市機能の誘導と集積を図る。公共公益機能が集積することにより、公共施設の維持管理が効率化され、維持管理費の減少につなげる。  
 ・民間事業者の施設整備に係る費用の支援(国の制度等の活用含む)により、駅周辺における賑わいや利便性の向上につながる施設整備の機会を創出する。  
 ・デマンド交通をはじめとした公共交通の充実や自転車利用環境の向上、駅周辺のバリアフリー化を視野に入れた歩道改良等により、生活交通の確保と円滑で安全な歩行空間整備をすることで、高質な都市空間づくりに努め、都市機能の誘導と集積を図る。  
 また、既存のバリアフリー化や修景のための取組や、今後検討を予定する地域交通に関する総合的な計画と連携し、都市機能誘導区域の快適な移動環境づくりを通じて都市機能の集積に努め、外出機会の増加につなげる。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標年度	目標年度
地区人口	人	地区内の人口	1,856	H29	1,870	R5
道路のバリアフリーに関する満足度	%	地区内道路のバリアフリーに関する満足度	25	H30	40	R5
駅前広場の使いやすさ満足度	%	駅前広場の使いやすさ満足度	39	H30	60	R5

整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1: 人に優しい交通環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治医大駅東口から自治医科大学附属病院までの経路における、駅前広場および市道の整備(バリアフリー化)を行い、安全・安心に移動できる交通環境整備を目指す。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路: 自治医大駅東口駅前広場</li> <li>道路: 市道7002号線</li> <li>道路: 市道7020号線</li> <li>道路: 市道7036号線</li> <li>道路: 市道7024号線</li> <li>道路: 市道7050号線</li> </ul>
<p>目標2: 快適に住み続けられる住環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治医大駅周辺において、行政、公共施設、店舗等の生活を支える様々な機能を集約させるとともに、そうした機能によるサービスを受けられる暮らしやすい定住の場づくりを進める。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高質空間形成: 駅東口公衆トイレ</li> <li>地域生活基盤: 駅西口自転車駐輪場</li> <li>地域生活基盤: 情報板(東口、西口)</li> </ul>
<p>【既成市街地外縁部における生活機能の確保】</p>	<p>市道C線(歩道整備)</p> <p>地域生活基盤施設(自転車駐車場)</p>
<p>その他</p>	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治医大駅東口駅前広場及び市道等の計画において、住民要望等の把握を行い、円滑な整備推進を図っている。</li> </ul>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	494.4	交付限度額	245.2	国費率	0.496
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費	費用便益比 B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
基幹事業															
道路		自治医大駅東口駅前広場	下野市	直	A=4,300㎡	R1	R3	R1	R4	293.5	293.5	293.5		293.5	—
道路		市道7002号線	下野市	直	L=380m	R1	R3	R1	R2	99.2	99.2	99.2		99.2	—
道路		市道7020号線	下野市	直	L=140m	R1	R4	R1	R2	7.4	7.4	7.4		7.4	—
道路		市道7036号線	下野市	直	L=85m	R1	R3	R1	R3	22.0	22.0	22.0		22.0	—
道路		市道7024号線	下野市	直	L=36m	R1	R4	R1	R4	14.8	14.8	14.8		14.8	—
道路		市道7050号線	下野市	直	L=58m	R1	R4	R1	R4	19.0	19.0	19.0		19.0	—
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	自転車駐輪場	自治医大駅西口	下野市	直	1箇所	R5	R5	R4	R5	7.9	7.9	7.9		7.9	—
地域生活基盤施設	情報板	自治医大駅東口、西口	下野市	直	2箇所	R4	R4	R4	R4	6.8	6.8	6.8		6.8	—
高質空間形成施設	公衆トイレ	自治医大駅東口	下野市	直	1箇所	R4	R4	R4	R4	22.8	22.8	22.8		22.8	—
高次都市施設 地域交流センター															
観光交流センター															
まちおこしセンター															
子育て世代活動支援センター															
複合交通センター															
誘導施設 医療施設															
社会福祉施設															
教育文化施設															
子育て支援施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										493.4	493.4	493.4	0.0	493.4	…A
提案事業															
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業															
事業活用調査	立地適正化計画変更業務	自治医大駅周辺地区	下野市	直	一式	R3	R3	R3	R3	1.0	1.0			1.0	
まちづくり活動推進事業															
合計										1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	…B
														合計(A+B)	494.4

自治医大駅周辺地区(栃木県下野市)	面積	43.5 ha	区域	医大前1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、祇園1丁目の全部と祇園2丁目の一部
-------------------	----	---------	----	--------------------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

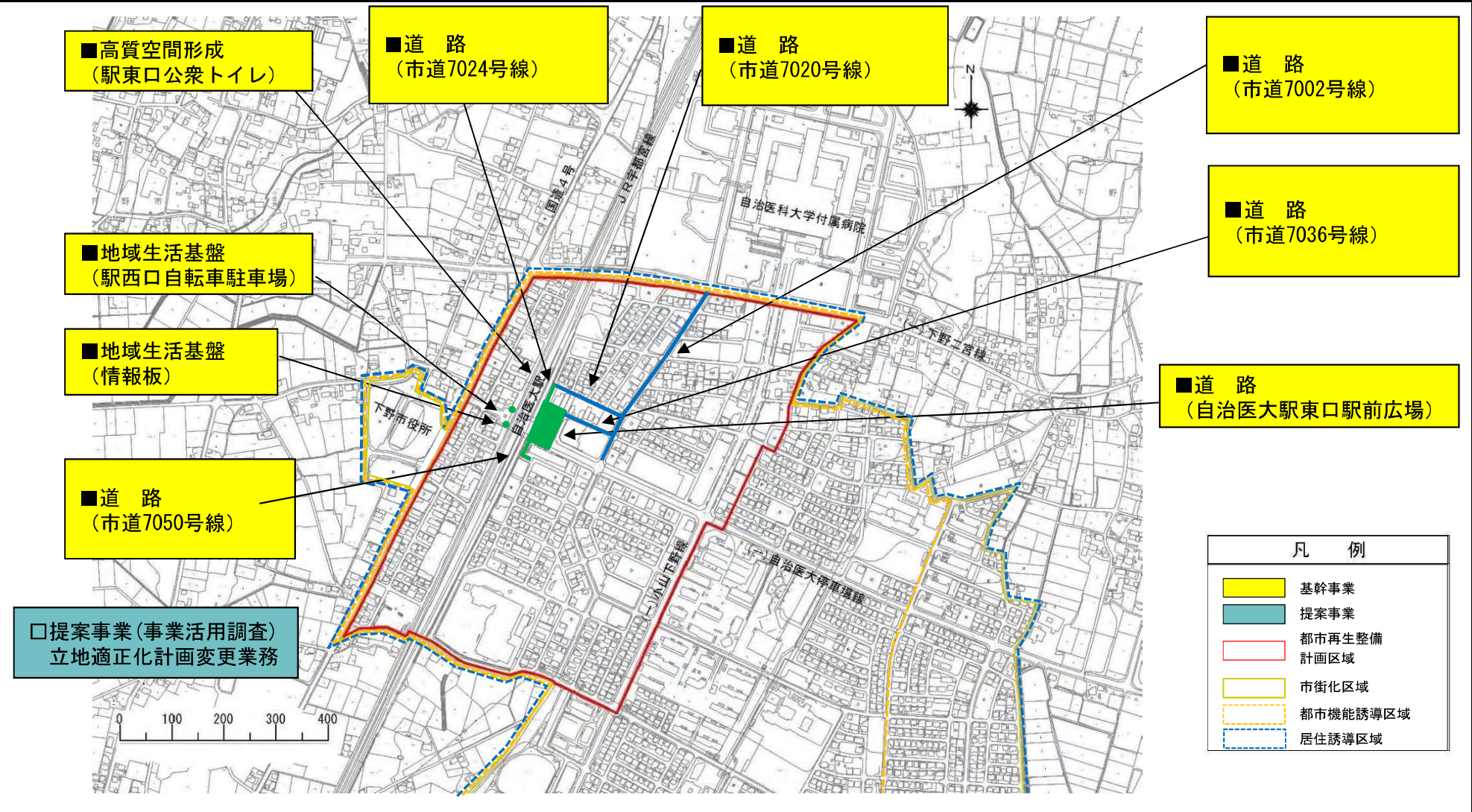


凡 例		
彩色	種 別	数値
---	都市計画区域	
---	市 町 界	
□	市街化区域	
■	第一種低層住居専用地域	60/40 80/50
■	第一種中高層住居専用地域	200/60
■	第二種中高層住居専用地域	200/60
■	第一種住居地域	200/60
■	第二種住居地域	200/60
■	近隣商業地域	200/80
■	準工業地域	200/60
■	工業地域	200/60
■	工業専用地域	200/60
■	特別工業地区	
■	公 園	
■	緑 地	
→	歩行者専用道路	
→	都市計画道路	
□	地区計画区域	
□	自転車駐車場	
□	区画整理地区	
—	東北新幹線	
■	調整池	



## 自治医大駅周辺地区(栃木県下野市) 整備方針概要図

目標	大目標: 快適でうれしい環境で新たな人の流れをつくるまちづくり	代表的な 指標	地区内の人口 (人)	1,856	(H29年度)	→	1,856	(R5年度)
	目標1: 人に優しい交通環境づくり		道路のバリアフリーに関する満足度 (%)	25	(H30年度)	→	40	(R5年度)
	目標2: 快適に住み続けられる住環境づくり		駅前広場の使いやすさ満足度 (%)	39	(H30年度)	→	60	(R5年度)



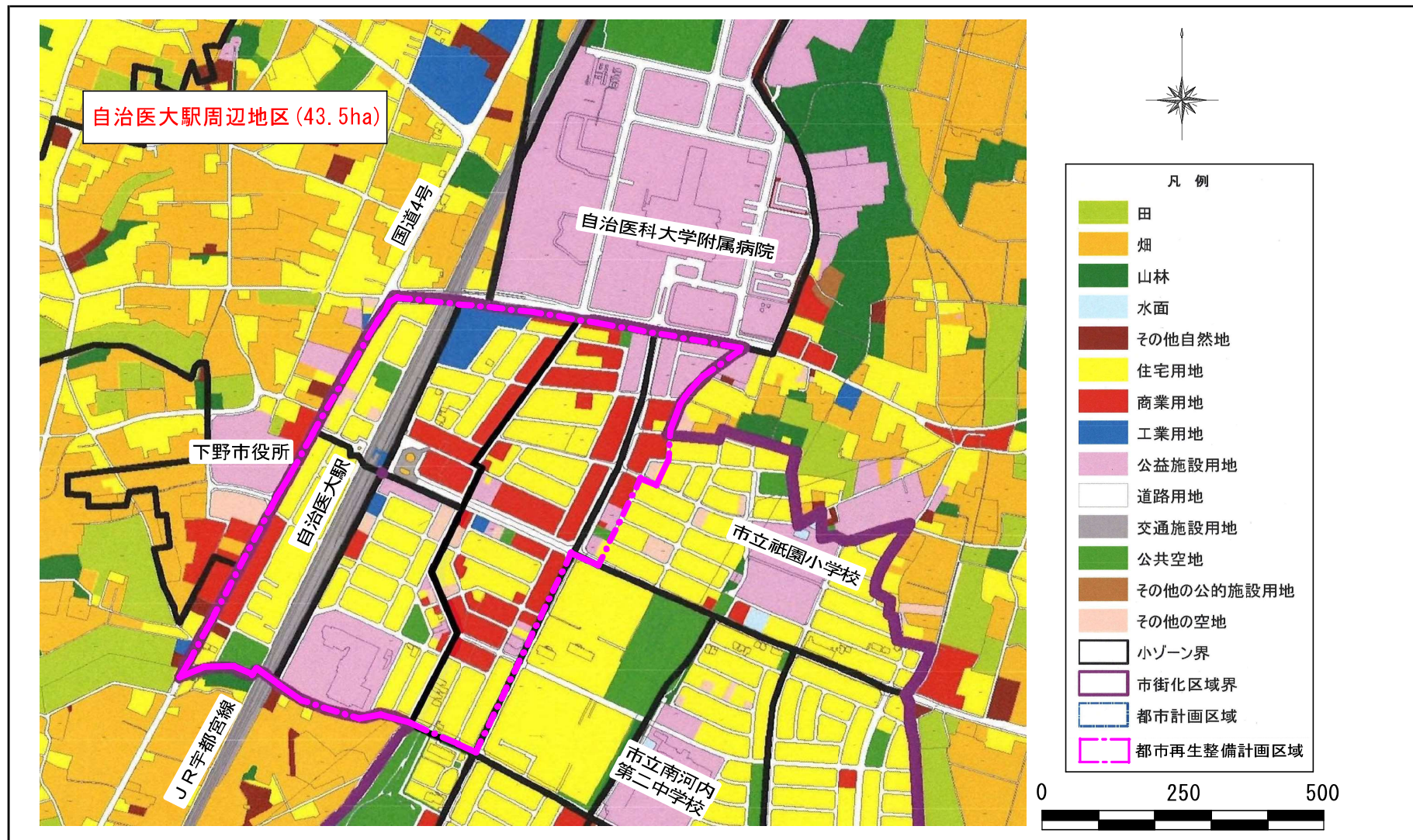
# 都市再生整備計画の添付書類等

## 交付対象事業別概要

じち いた いえきしゅうへんちく 自治医大駅周辺地区 とちぎ しもつけ (栃木県下野市)



自治医大駅周辺地区(栃木県下野市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

自治医大駅周辺地区(栃木県下野市) 様式(2)-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	245.2 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	1,147.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	245.2 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	-------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

<b>Au</b>	195,750 m <sup>2</sup>
-----------	------------------------

公共施設の上限整備水準			
区域面積(m <sup>2</sup> )		435,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
		その他の地域	0.40

<b>Ci</b>	0 円/m <sup>2</sup>
-----------	--------------------

単位面積あたりの標準的な用地費	
標準地点数	
公示価格の平均値(円/m <sup>2</sup> )	
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m <sup>2</sup> )	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

<b>Cf</b>	23,000 円/m <sup>2</sup>
-----------	-------------------------

<b>控除額</b>	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設		
施設名(事業名)	面積(m <sup>2</sup> )	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

<b>Ap</b>	95971.68 m <sup>2</sup>
-----------	-------------------------

公共施設の現況整備水準	
整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m <sup>2</sup> )	0

個別公共施設の積み上げ		
-------------	--	--

	面積(m <sup>2</sup> )	割合
道路	86,649	0.2
公園	7,899	0.02
広場	1,424	0
緑地	-	
公共施設合計	95,972	0.22

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	1147 百万円
----------------------	----------

<b>ΣCn</b>	0 円
------------	-----

下水道	0 円
区域面積(m <sup>2</sup> )	435,000
うち現況の供用済み区域面積(m <sup>2</sup> )	
標準整備費(円/m <sup>2</sup> )	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
---------------------	-----

上限床面積(m <sup>2</sup> )	9,400
標準整備費(円/m <sup>2</sup> )	380,000

調整池	0 円
-----	-----

調整池の容積(m <sup>3</sup> )	
標準整備費(円/m <sup>3</sup> )	140,000

河川	0 円
----	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)	超高層	一般
------------	-----	----

	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m <sup>2</sup> )	
標準共同施設整備費(円/m <sup>2</sup> )	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積(m <sup>2</sup> )	
標準整備費(円/m <sup>2</sup> )	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	1147 百万円
---------------------	----------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集中支援事業>

交付限度額(X1)	245.2 百万円
-----------	-----------

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	百万円
-----------	-----

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

交付限度額算定表(その2)(都市構造再編集中支援事業)

【都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業を含む。)から都市構造再編集中支援事業へ移行する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

本都市再生整備計画において活用した事業に「○」をご選択ください。

<input checked="" type="radio"/>	都市再生整備計画事業(通常)
<input type="radio"/>	都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)
<input type="radio"/>	都市再構築戦略事業

＜都市再生整備計画事業(通常)の国費率、執行事業費＞ ※都市再生整備計画事業(通常)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)		①	(国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費		②	(事業費)

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)に移行した場合、「変更提出日の前日」を「計画認定日の属する年度の年度末」に読み替え。

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

＜都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)の国費率、執行事業費＞ ※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)	0.450	③	(国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費	38,300	④	(事業費)

※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

＜都市再構築戦略事業の国費率、執行事業費＞ ※都市再構築戦略事業を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)		⑤	(国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費		⑥	(事業費)

＜都市構造再編集中支援事業の国費率、執行事業費＞

＜都市機能誘導区域内＞

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	493,400	⑦	(事業費)
	提案事業合計(B)	1,000	⑧	(事業費)
	合計(A+B)	494,400		(事業費)

以下の2つの条件それぞれについて、該当する場合は○を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	<input type="radio"/>
提案事業枠2割拡充の適用	<input type="radio"/>

※都市機能誘導区域面積割合=都市機能誘導区域の面積の市街化区域等(市街化区域又は非線引き用途地域)の面積に占める割合。

＜都市機能誘導区域外＞

交付対象事業費	基幹事業合計(C)		⑨	(事業費)
	提案事業合計(D)		⑩	(事業費)
	合計(C+D)	0.000		(事業費)

$(10/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$ ( $\alpha 1$ )	
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合: $(9/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$	494.400 ⑫
$(10/9 \times (A+C))$ ( $\alpha 2$ )	
※提案事業2割拡充を適用する場合: $(10/8 \times (A+C))$	548.222 ⑬
交付要綱に基づく交付限度額(⑪、⑫の小さい方 $\times 1/2$ )	247.200 ⑭ (国費)
国費率(③ $\div$ (A+B+C+D))	0.500 ⑮ (国費率)

変更提出日以降の執行事業費の総額	456.100	⑪	(事業費)
------------------	---------	---	-------

交付限度額(⑪ $\times$ ②+③ $\times$ ④+⑤ $\times$ ⑥+⑪ $\times$ ⑮)	245.285	⑯ (国費)
--	---------	--------

○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B+C+D)	494.4	(事業費)
------------------	-------	-------

交付要綱に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	245.2	⑰ (国費)
国費率	0.496	⑱ (国費率)

年次計画(都市構造再編集中支援事業)

様式(2)-5-1  
(事業費:百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業	細項目								
道路		自治医大駅東口駅前広場	下野市	293.5	3.7	75.0	198.0	16.8	
道路		市道7002号線	下野市	99.2	29.2	70.0			
道路		市道7020号線	下野市	7.4	2.4	5.0			
道路		市道7036号線	下野市	22.0	1.2		20.8		
道路		市道7024号線	下野市	14.8	0.6			14.2	
道路		市道7050号線	下野市	19.0	1.2			17.8	
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	自転車駐輪場	自治医大駅西口	下野市	7.9				5.2	2.7
地域生活基盤施設	情報板	自治医大駅東口、西口	下野市	6.8				6.8	
高質空間形成施設	公衆トイレ	自治医大駅東口	下野市	22.8				22.8	
高次都市施設	地域交流センター								
	観光交流センター								
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交流センター								
誘導施設	医療施設								
	社会福祉施設								
	教育文化施設								
	子育て支援施設								
既存建物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				494.4	38.3	150.0	219.8	83.6	2.7

提案事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業									
事業活用 調査	立地適正化計画変更業務	自治医大駅周辺地区	下野市	1.0			1.0		
まちづくり活動 推進事業									
計				1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
合計				494.4	38.3	150.0	219.8	83.6	2.7
累計進捗率 (%)					7.7%	38.1%	82.5%	99.9%	100.0%

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!



# 道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長  m	幅員		整備後 車線数  車線	歩道 幅員  m	まち交 事業費  百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容  <small>注3)</small>	都市計画 決定  年月	備 考  <small>注4)</small>
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
自治医大駅東口駅前広場	～	地	下野市	-	改良	49.2	80.0	80.0	1	8.0	293.5	R1～R4	道路改良		A= 4,300㎡
市道7002号線	～	地	下野市	-	改良	380	12.0	12.0	1	2.5	99.2	R1～R2	道路改良		
市道7020号線	～	地	下野市	-	改良	140	6.0	6.0	1	—	7.4	R1～R2	道路改良		
市道7036号線	～	地	下野市	-	改良	85	6.0	6.0	1	2.0	22.0	R1～R3	道路改良		
市道7024号線	～	地	下野市	-	改良	36	7.8	7.8	—	7.8	14.8	R1～R4	道路改良		歩道
市道7050号線	～	地	下野市	-	改良	58	6.0	6.0	—	6.0	19.0	R1～R4	道路改良		歩道

(参考)

<関連事業>															

\* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街：街路、地：地方道(市町村道)、国：国道、主：主要地方道、一：一般都道府県道、市：市町村道、他：いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>については通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築：交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場：都市計画決定の有無、面積、利用台数等

\* 不足する場合は適宜行を追加すること



## 地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費 うち購入費	
緑地							—	
広場							—	
駐車場								
自転車駐車場	自治医大駅西口	下野市	1箇所	7.9			7.9	
荷物共同集配施設								
公開空地							—	
情報板	自治医大駅東口、西口	下野市	東口1箇所、西口1箇所	6.8			6.8	—
地域防災施設	施設種別:							
人工地盤							—	
合計	—	—	—	14.7			14.7	

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、給電・給排水施設、ストリートファニチャー・モニュメント、土塁、堀跡等)	自治医大駅 東口公衆トイレ	下野市	1箇所	22.8			22.8	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、給電・給排水施設、ストリートファニチャー・モニュメント、土塁、堀跡等)								
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						-	-	
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
情報化基盤施設								
合計	-	-	-	22.8	0.0		22.8	